

登山の実施結果について(令和6年7月4日～同年9月4日実施分)

【山岳部】

番号	学校名	行事名	実施山域	実施日	日数	参加生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			天候(上段) 積雪量(下段)	特に配慮した点の特記事項	ヒヤリハット事例			
									人数	資格	要件			具体的内容	背景要因	改善策	委員からの助言
1	宇都宮高等学校	令和6年度社山登山	社山 (日光市)	令和6年7月13日	1日 (日帰り)	14名	3名 湯澤真一 鶴見勝司 富永孝昭	学校(6:30)・・・歌が浜(8:30)・・・狸窪(9:15)・・・半月峠(10:00)・・・阿世湯峠(10:50)・・・社山(12:05～30)・・・阿世湯峠(13:15)・・・阿世湯(13:27～37)・・・歌が浜(14:25)・・・宇高(16:10)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	晴れ 0cm	・前日までの雨によって濡れた木の階段や木の根は滑ることが予想されたため、足の置き場所には注意させた。 ・熱中症対策として、着衣の調整や水分・塩分・糖分補給に注意させた。 ・大人数のパーティなので、隊列が分裂しないようにベース配分には注意した。	・山頂手前で、1年生部員の登山靴のソールが剥がれていた。山頂の休憩時に申し出があり判明した。	・父親が購入し、15年以上履いていなかったものということで、見たところは新しく問題なく見えていたが、ソールの接着剤が化学反応で劣化していたものと思われる。修理用品の針金とゴムテープで補修し、無事に下山はできた。	・登山靴のソールは履いていなくても、一般的に5～10年で加水分解を起こすと言われる。長いこと履いていないお下がりの登山靴には十分に注意させる。また、登山靴は装備品の中では最重要なものでもあるので、入部と同時に新品を買うか、お下がりの場合は、ソールを張り替えてから山行に臨ませることを徹底させたい。	ソールの劣化はよくある事象のため、登山靴の事前確認を行うこと。
2	宇都宮高等学校	令和6年度白根山登山	白根山 (日光市、群馬県片品村)	令和6年7月20日	1日 (日帰り)	12名	2名 湯澤真一 鶴見勝司	学校(7:00)・・・菅沼登山口(9:00)・・・弥陀ヶ池(10:45)・・・白根山頂(12:00)・・・五色沼(13:30)・・・弥陀ヶ池(14:05)・・・菅沼登山口(15:15)・・・宇高(17:20)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	曇り 0cm	・熱中症対策として、着衣の調整や水分・塩分・糖分補給に注意させた。 ・高所では休憩中などは風があると汗冷えて寒いので、防風防寒対策にも気を付けさせた。 ・山頂の北東斜面の岩場通過時は、全員ヘルメットを着用させ、三点確保で危険箇所は1人ずつ通過することを徹底した。 ・ガレ場は落石させないように慎重に歩くこと、ガレ場の下りは足裏全体で摩擦を利かせながら下ることを注意した。 ・大人数のパーティなので、隊列が分裂しないようにベース配分には注意した。	特になし	特になし	特になし	問題なし
3	宇都宮高等学校	令和6年度蝶ヶ岳夏山合宿	蝶ヶ岳 (長野県松本市)	令和6年8月3日～5日	2泊3日	15名	4名 湯澤真一 鶴見勝司 富永孝昭 大和田哲也	[8/3]学校(6:30)・・・バス移動・・・上高地(11:30)・・・徳沢(14:00) [8/4]3時半起床、朝食準備、幕営地出発(5:20)・・・2000m平(6:43)・・・長堀山(8:27)・・・蝶ヶ岳(9:10)大休止・・・2000m平(10:34)・・・徳沢キャンプ地(12:22) [8/5]4時半起床。5時半朝食準備。幕営地撤収(7:45)・・・明神(8:25)・・・上高地バスターミナル(9:30)・・・(松本市内で入浴、昼食)・・・宇高(17:10)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	晴れ 0cm	・気温が高く、熱中症が心配されたので、着衣の調整や水分・塩分・糖分補給に注意した。 ・上りは、1時間に10分のペースで小休止をこまめに取り、水分と塩分を補給させた。 ・大人数のパーティなので、隊列が分裂しないようにベース配分には注意した。	・事前ミーティングで、食糧計画中の米は各自で2合持参することと伝達していたが、生徒の半数近くが、共同購入品と勘違いして持参していなかった。最終日の朝食の冷や汁かけご飯が作れなくなり、予備食の冷や麦に切り替えた。 ・テント設営時にベグが不足し、フライシートの一部がテント本体に密着してしまったテントがあった。	・予行の炊事訓練でも、米は各家庭から持参させていたので、ミーティングで確認すれば当然分かるはずだろうという見通しの甘さがあった。 ・ベグの管理がずさんで、テント毎に必要な数をまとめて管理できていなかった。	・事前ミーティングで確認するだけでなく、しおりにも個人で持参する食糧を分かり易く明記し、準備段階でも気が付くように改善する。 ・テント毎に必要な本数と予備のベグ数本を準備し、個別のベグ袋に入れて管理することを徹底する。	持参食料については適切に生徒に周知すること。
4	宇都宮白楊高等学校	夏山登山	男体山 (日光市)	令和6年8月11日	1日 (日帰り)	4名	2名 金鋪良昭 佐久間利美 (部活動指導員)	日光二荒山神社(6:00)・・・男体山登山口(6:10)・・・3合目(7:00)・・・5合目(7:30)・・・8合目(9:30)・・・男体山山頂(9:50着10:30発)・・・8合目(11:30)・・・5合目(12:00)・・・二荒山神社(13:00)・・・現地解散(13:45)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	晴れの曇り 0cm	・過去の山行の中でも難易度が高い山であるため、細かなミーティングをするともに危険箇所の確認・持ち物と装備品を入念に確認した。 ・また、各自で体調管理と筋力トレーニング等をするなどして当日に備えた。	・生徒2名が下山途中に疲労が見られ、他メンバーよりも足取りが遅くなっており、2人とも5合目～3合目で足の踏ん張りがきかず2～3回戻もちをついて転んだ。幸い大きな転倒ではなかったため怪我はなかったが、速度を落としてゆっくりと下山した。	・体力不足や疲労もあった可能性がある。 ・難易度の高い山であり長時間の登山であったため、普段よりもゆったりとしたペースを心掛け、こまめな休憩を取っていた。 ・また、標高が高く、比較的に涼しい条件であり、WBGT計の数値も高くなかったが、足をつるなどの症状が現れてしまった。	・今回は本人も歩行が可能であったため、水分補給やエネルギー補給等で済んだ。しかし、症状が重く本人が歩行も難しい場合には対象者を背負っての救急搬送も必要である。そのため、普段の部活動においてセルフレスキュー方法について生徒に学習させることも不測の事態に対応できて良いのではないかとアドバイスをいただいたため、実践していきたい。	問題なし
5	栃木女子高等学校	令和6年度三年生引退登山	日光白根山 (日光市、群馬県片品村)	令和6年7月20日	1日 (日帰り)	21名	4名 高橋秀明 池間明德 竹前睦 増山明美	栃女6:00＝借上バス＝日光白根ロープウェイ駐車場8:50～ロープウェイ～山頂駅9:10・・・七色平分岐10:00・・・12:00白根山山頂12:20・・・七色平分岐13:50・・・14:40山頂駅～ロープウェイ～日光白根ロープウェイ駐車場16:20＝借上バス＝栃女18:40	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ2	第1号	曇り時々雨 0cm	・人数が多かったため、隊全体を把握できるよう引率教員とアドバイザーを分散させたパーティーを編成した。 ・特に森林限界を越えたあと、休憩ごとに雷の情報を携帯電話や目視などで確認した。 ・特に森林限界を越えたあと、レインウェアの上着等で風対策をさせた。 ・特に森林限界を越えたあと、休憩中の体温の低下防止のため、休憩時間を短めにし回数を増やした。	特になし	特になし	特になし	問題なし
6	栃木女子高等学校	令和6年度夏山登山	安達太良山 (福島県二本松市)	令和6年8月7日～8日	1泊2日	17名	3名 高橋秀明 池間明德 竹前睦	[8/7]栃女10:30＝借上バス＝13:20フォレストパークあだたら(幕営) [8/8]フォレストパークあだたら8:20＝借上バス＝安達太良山ロープウェイ山麓駅9:00～ロープウェイ～山頂駅9:30・・・11:00安達太良山山頂11:20・・・馬の背11:50・・・14:30山頂駅～ロープウェイ～14:50山麓駅(温泉施設)16:10＝借上バス＝18:50栃女	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ2	第1号	曇り時々雨 0cm	・出発の段階(安達太良山ロープウェイ山麓駅9:00)で、くろがね小屋が工事で閉鎖されているため、アドバイザーと相談し、馬の背手前から沼ノ平を見学した後、引き返しロープウェイを使って下山する計画に変更した。 ・特に森林限界を越えたあと、休憩ごとに雷の情報を携帯電話や目視などで確認した。 ・特に森林限界を越えたあと、レインウェアの上着等で風対策をさせた。	特になし	特になし	特になし	問題なし

登山の実施結果について(令和6年7月4日～同年9月4日実施分)

【山岳部】

番号	学校名	行事名	実施山域	実施日	日数	参加 生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			天候(上段)	特に配慮した点の特記事項	ヒヤリハット事例			
									人数	資格	要件	積雪量(下段)		具体的内容	背景要因	改善策	委員からの助言
7	大田原 高等学校	塩原山行(前 黒山)	高原山付近 (那須塩原 市)	令和6年 7月13日	1日 (日帰り)	7名	2名 高梨和幸 小磯怜士	大沼公園6:15集合、行動開始6:30 … 公道交差7:00 … 登山道入口7:20 … 山頂9:00 … (休憩25分) 出発9:25 … 登山口入口10:30 … 公道交差10:40 … 大沼公園11:00 … 調理実習 … 解散13:00	1名	日本スポーツ 協会公認 山岳コーチ1	第1号	曇り(一部 晴れ) 0cm	・林業で出入りする、地図には未記載の道が多数あるため、読図と研究計測を入念に行った。 ・今回から一年生のためのパーティであるため、要所要所でアドバイスを行った。生徒はよく学んでおり、情報の共有はスムーズにできた。 ・以前低血糖を起こした副顧問は、対策としてトレッキングボール(ストック)を使用し、今回の山行は問題なく歩き切った。	・集合時間に遅刻する生徒がいた。	・那須塩原の土地勘がなく、時間の読み間違えをしたのかもしれない。	・当該生徒はこれまで4回の山行について、保護者の送迎でほとんど遅刻している。保護者会では必ず集合場所を地図やグーグルマップストリートビュー等で説明しているが、当該生徒の保護者は保護者会に欠席している(資料は生徒を通じて配布済み)。 ・また、山行前の生徒との最終ミーティングでは集合場所の確認もしているが、集合場所を間違えるということもあった。 ・本校ではさまざまな連絡は通知文(ペーパー)や生徒を通じて行うとともに、同時にLINEも併用し情報共有を行っているが、当該生徒の保護者は(LINEの活用には反対で)LINEではつながっていない。(生徒は日常的にLINEを使用しており、その保護者やラインでやりとりはしたことはある)。引き続き、山行前ミーティングで生徒によく連絡を共有するよう指導していく。	問題なし
8	大田原 高等学校	文月山行(茶 臼岳)	茶臼岳 (那須町)	令和6年 7月27日	1日 (日帰り)	6名	2名 高梨和幸 小磯怜士	ファミリースキー場跡集合5:50、出発5:55 … 殺生石分岐6:35 … 山頂駅付近分岐8:30(休憩10分) … 山頂9:15(昼食40分) … 峰の茶屋跡10:30 … 峠の茶屋11:00	1名	日本スポーツ 協会公認 山岳コーチ1	第1号	曇り 0cm	・十分に準備をして山行に臨むことができた。	特になし	特になし	特になし	問題なし
9	大田原 高等学校	葉月山行(黒 尾谷岳・南月 山)	那須岳 (那須町)	令和6年 8月18日	1日 (日帰り)	7名	2名 高梨和幸 小磯怜士	乙女の滝集合5:30====(それぞれ保護者の送迎)====黒尾谷岳登山口6:10 … 標高1230m付近で体調不良者、15分休憩後下山 … 黒尾谷岳登山口7:50 … 道路にて解散8:20	1名	日本スポーツ 協会公認 山岳コーチ1	第1号	晴れ 0cm	・8/16に台風が接近した。8/15の朝、部員それぞれに天候の影響による実施の可否について意見を入力(Teams)するように指示し、15日の夕方にZoomでミーティングを行った。台風による影響を鑑みて、山行は18日に延期することにした。 ・8/18は予定通り開始したが、黒尾谷岳に向かうところで立ち止まったところ、立ち眩みをする生徒が現れ、その場で15分ほど休憩した。 ・体調は戻ってきたが、黒尾谷岳に向かった先にエスケープルートが無いことから、この日の山行を中止し、来た道を戻って下山した。	・読図のために立ち止まったとき、生徒1名が立ち眩み(貧血)を起こした。顔色が青くなっていたため顧問が声をかけ、その場で休憩にした。	・朝食は摂っており、出発前の体調確認でも特に問題はなかった。もともと貧血を起こしやすい生徒であるが、これまでの山行で具合が悪くなったことはなかった。	・引き続き、周囲のメンバーの体調確認を徹底する。	問題なし